

研修報告書No.18

所 属：県外病院 研修医

研修先：本山町立国保嶺北中央病院
高知市土佐山へき地診療所

私は平成 29 年 1 月の一ヶ月間、本山町国保嶺北中央病院、高知市土佐山へき地診療所で研修させていただきました。また研修期間中には大川村診療所、黒丸診療所などの診療所やグループホーム、障害者支援施設での診療も経験させていただきました。

嶺北中央病院はまわりを山々に囲まれ、吉野川流域に位置した自然環境の豊かな場所にあります。診療圏は本山町、大豊町、土佐町、大川村の嶺北 4 町村であり、診療圏人口は約 13000 人です。嶺北地区の基幹病院であり、入院患者の診察や救急搬送されてきた患者の対応、各科の外来見学や、訪問診療など様々なことを研修しました。今回の研修では、高齢化が進み、身よりの少ない方や自立した生活が難しい方が多い中で、どこまで病院で加療を行っていくか、また退院先をどうするかなど、医療行為だけでなく、社会生活における難しい問題がたくさんあると感じました。嶺北地域の様な僻地では若年者の都市部への移動が多く、高齢者が自力で生活できなくなった時に周りで支援できない状況の方々が大勢います。また山間部であり急勾配や細い道が多く、公共交通機関も少ないため、生活のためどうしても車が必要になってきます。しかし何らかの事情で移動ができなくなった時に、身寄りのいない高齢者の方を支援するためには何が必要なのか、改めて考えさせられました。この問題に対して具体的な解決策はわかりませんが、医療従事者が増えるだけでは根本的な解決にはならず、地域全体での支援が必要だと感じました。正直なところ、周りにお店もなく若者の自分でさえたとり着くのにも苦労するようなところに独居で暮らしている方をみると、もう少し便利なところに移り住んだ方がいいのではと思いましたが、話を伺うと皆さん「ここが好きだから、なんかあっても悔いはないよ」と、笑っている姿がとても印象的でした。また先生方と住民の距離が近く、誰々さんの近況を聞かないけど大丈夫かな、といった地域医療ならではの患者との関わり方を見ることができ、大変貴重な経験となりました。都市部で生活している自分にはない住民同士のつながりがとても暖かく、研修終了時には自分も嶺北地域から離れたくない気持ちになるほど素敵な研修になりました。

医療以外での楽しみとして一ヶ月の研修期間中の休日を使って、四国の様々なところを観光しました。高知市内はとても活気があり食事も絶品でした。四万十町の海洋堂ホビー館は東京にないのが惜しまれるほど楽しいところでした。他にも香川の金刀比羅宮や、松山の道後温泉など、四国を満喫することができとても有意義な一ヶ月を過ごすことができました。

今回の研修で、今までは殆ど考えたこともなかった地域医療の現場を肌で感じる事ができ、いつかは自分も地域医療に貢献したいと思えるほど満足のいく一ヶ月間となりました。ありがとうございました。